

《担当者名》○井上 貴翔（看） 山田 桃子（リハ）

【概要】

大学生には研究や調査、学習の成果をまとめ、レポートや論文として提出することが求められるが、本講義ではそのための基本的な力 具体的には、論理的な文章を的確に読解する力（読解力）、相手の考えを的確にまとめる力（要約力）、自分の考えを適切に表現し、わかりやすく伝える力（論理的思考力、文章構成力、論述力）などを学ぶ。

【学修目標】

医療に関わる人間にとって必要不可欠となる日本語の基礎的な能力を身につける。

a. TPOに応じた適切な日本語（文体や書き言葉など）を使用する。

大学生として必要不可欠になるコミュニケーション能力、特に言語表現の能力を身につける。

a. 他者の言語表現を適切に読解し、要約する。

b. 自身の主張や考えを論理的に表現する。

レポートや論文の基本的な作成手順を身につける。

a. 自身の主張や考えを、他者にわかりやすく伝えるよう準備・工夫し、表現する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス/ 講義目的と履修上の注意	講義の進め方、到達目標、評価方法について概説できる。	井上 貴翔 山田 桃子
2	レポートの基本	レポートの基本について理解する。	井上 貴翔 山田 桃子
3	論証	論証の基本について理解する。	井上 貴翔 山田 桃子
4	文章読解（1）	論理的な文章を読解する基本的な方法について理解する。	井上 貴翔 山田 桃子
5	文章読解（2）	論理的な文章を読解する基本的な方法について、演習課題を通してより理解を深める。	井上 貴翔 山田 桃子
6	レポート課題講評（1）	講義内で作成したレポート課題の講評について理解する。	井上 貴翔 山田 桃子
7	要約（1）	論理的な文章の要約方法について理解する。	井上 貴翔 山田 桃子
8	要約（2）	論理的な文章の要約方法について、演習課題を通してより理解を深めるとともに、要約課題を提出する。	井上 貴翔 山田 桃子
9	レポートの作成手順	先行資料や先行研究を踏まえたレポートの作成手順について理解する。	井上 貴翔 山田 桃子
10	レポートの構成	レポートの基本的な構成について理解する。	井上 貴翔 山田 桃子
11	情報の種類と特徴およびその検索	情報の種類とそれぞれの特徴、検索方法について理解する。	井上 貴翔 山田 桃子
12	引用のルール/出典の示し方	引用のルールと出典の示し方について理解する。	井上 貴翔 山田 桃子
13	レポート課題講評（2）	講義内で作成したレポート課題の講評について理解する。	井上 貴翔 山田 桃子
14	レポートにおけるルーブリック評価	レポートにおけるルーブリック評価について理解する。	井上 貴翔 山田 桃子
15	総まとめ	期末レポート作成に向けて、復習を兼ねた講義の総まとめについて、理解する。	井上 貴翔 山田 桃子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポートによる学習到達度70%、講義で課した課題による学習到達度30%

**【教科書】**

毎回、授業時に配布するプリントを用いる。

**【参考書】**

必要に応じ、講義内で適宜紹介する。

**【備考】**

この科目では、Google Classroomを用いて出席確認や課題の提出などを行う。

なお、この科目は、レポートの書き方などアカデミック・ライティングに関することを一から学ぶ科目であるため、前期必修科目である「基礎ゼミナール（Freshers' 講座）」の一部と内容が重複したり、その内容の発展だったりする場合もある。

**【学修の準備】**

予習：次回の講義内容に該当する部分について、講義プリントに目を通しておくこと（30分）。

復習：講義プリントの例題や返却された課題を必ず確認し、間違い等を修正しておくこと（90分）。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得するという心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。